

会 員 各 位

公益社団法人 埼玉県理学療法士会
選挙管理委員会委員長 柳澤 勇

お知らせ

令和元年5月15日をもちまして役員の立候補受付を終了いたしました。その結果、立候補者は以下の通りとなりました。きたる令和元年度定時総会において役員の選任が行なわれますが、定款第22条の規定により以下のようになりますので予めご了承ください。

1. 理事・監事の立候補者はいずれも定数内で全員無投票当選となります。
2. 理事・監事は、令和元年度定時総会において承認されます。

(項目ごとの受付順にて掲載)

立 候 補 者 広 報 1

《 理 事 立 候 補 者 (会 長 候 補 者 と なる 意 向 が ある) 》

南本 浩之

春日部厚生病院

〈 立候補趣旨 〉

この度、埼玉県理学療法士会理事（会長）に立候補致しました南本浩之です。2017年6月より会長として様々な取り組みを行ってまいりました。会員皆様のご意見を聴取させて頂き、理学療法の新たな専門領域への教育体制の強化、学会など学術への自己研鑽の奨励、職能向上のため政策検討組織の構築、事務局機能の強化、特に会員皆様の意見聴取に基づく士会運営システムを構築し、会員の意見による、会員のための運営が出来るよう取り組んでまいりました。また、地域包括ケアシステムの構築及び地域リハ推進のため、埼玉県や医師会、看護協会、作業療法士会、言語聴覚士会、リハ専門職協会など他団体との連携強化、協働に取り組んでまいりました。新元号令和のもと、会員の皆様と一緒に理学療法（士）が、さらに発展していけるよう埼玉県理学療法士会の運営を会員の声の下、変革推進に努めていきたいと思ひ立候補をさせて頂きました。皆様何卒よろしくお願ひいたします。

立候補者広報 2

《理事立候補者》

細井 俊希

埼玉医科大学

〈立候補趣旨〉

私は、2011年から6年間教育局長を、また、2017年からは副会長を務めてまいりました。会員の方々をはじめ多くの方の支えにより、今のところ埼玉県理学療法士会は順調に運営されていますが、理学療法士を取り巻く環境の変化はめまぐるしく、毎年同じ事業を実施していくだけでは対応できなくなってきました。教育関連だけでも、今後、生涯学習プログラムの改定や臨床実習指導者養成講習会の開催などが予定されています。また、理学療法士の活躍の場も広がってきており、新たな研修会なども求められています。国や日本理学療法士協会の動向も見据えながら、また、会員の皆様のご意見も反映させながら、既存の事業にとどまらず新しいことへも取り組んでまいります。皆様のお力添えのほど、何卒よろしくお願いたします。

岡持 利亘

霞ヶ関南病院

〈立候補趣旨〉

これまで、(旧)老人福祉部長、西部ブロック理事、職能局長、副会長を担当させていただきました。

平成29年からの任期では、主に職能局を担当し、職能局長・医療保険部・介護保険部・業務推進部・地域包括ケア推進部の各部長と協力し、職域の拡大に役立つよう、研修等を実施いたしました。

また、埼玉県および医師会をはじめとする多団体とともに、地域リハビリテーションおよび地域包括ケアを推進する中で、多くの会員を地域での活動につなげたいと考えています。

平成28年3月より、埼玉県内のリハ三職種での協働を進めるため、埼玉県リハビリテーション専門職協会の運営にも協力しています。

今後も、埼玉県内における地域でのリハビリテーションを充実させる取り組みを継続していきたいと希望しています。

引き続き当会理事として、微力ながら貢献できればと考えておりますので、よろしくお願いたします。

立候補者広報 3

《理事立候補者》

赤坂 清和

埼玉医科大学

〈立候補趣旨〉

(公社) 埼玉県理学療法士会の理事に立候補させていただきました埼玉医科大学保健医療学部の赤坂清和です。(公社) 埼玉県理学療法士会は、(公社) 日本理学療法士協会や(公社) 東京都理学療法士会とも地理的に近いことや多くの会員がいること、多くの事業を行っているという特徴を有し、日本における理学療法を牽引している団体の1つであると考えられています。老若男女の埼玉県民に対する理学療法サービスを支えている団体が(公社) 埼玉県理学療法士会であり、急速な高齢化社会、理学療法士養成教育における変革、国際水準を満たす理学療法サービスの提供などが推進されている中で、課題が山積している状況です。私たち理学療法士の将来的な発展と県民に対する理学療法サービスの充実という見地で、会員の皆さまと共に最善の対策について意見を調整しながら尽力していきたいと考えています。よろしく願い申し上げます。

田口 孝行

埼玉県立大学

〈立候補趣旨〉

地域包括ケアシステムや共生社会の仕組みのなかで、質の高い理学療法士が求められております。これに対応して、指定規則改訂に伴った臨床実習指導者要件や養成校教員要件が取り決められ、新生涯学習システムの構築など理学療法士の質向上を目指した新しい取り組みが始まっております。(公社) 埼玉県理学療法士会でも社会の期待以上の成果を導き出すために組織的な取り組みが必要と考えております。前期2年間、教育局長として、主に指定管理者研修および臨床実習教育に関わり各ブロックや養成校とのネットワークづくりも含めて、会員・役員が連携したシステムティックな組織運営ができるよう努めてきました。今後は、生涯学習プログラムの改訂を見越して、さらに質の高い理学療法が提供できる新人教育および認定・専門研修が会員・役員の連携で実施できるような組織づくりに努めたいと思い、(公社) 埼玉県理学療法士会・理事に立候補致しました。

立候補者広報 4

《理事立候補者》

阿久澤 直樹

川越リハビリテーション病院

〈立候補趣旨〉

私は、現在回復期リハビリテーション病院に勤務しておりますが、これまで診療所、介護老人保健施設、療養病院での臨床経験に加え、介護予防を中心とした地域リハビリテーション領域での関わりを通し、我々の職能と職域に関して考えることが多くなっております。

2017年より職能局長を拝命し、我々が直面している2025年問題に向けた地域包括ケアシステムの構築に関し、研修会の企画・運営、人材育成に関わらせて頂く中で、2025年とその先の2040年問題を見据えた事業計画が継続的に必要であると感じています。

これまでも増して、医療・介護・生活支援・介護予防についてや、働きがいや働きやすさについて、質的、量的に良好な人材、環境づくりに尽力させて頂きたく、自ら研鑽を積むとともに、公益社団法人 埼玉県理学療法士会 役員選挙に立候補させていただきました。

水田 宗達

埼玉県総合リハビリテーションセンター

〈立候補趣旨〉

今まで埼玉県理学療法士会において総会運営部長、庶務部長、事務局長、副会長として士会活動に参加し貴重な経験をさせていただきました。今期は事務局長として事務員さん、部長さん、部員さんらと共に新しい取り組みを導入しながら士会活動の土台となる事務局機能強化に取り組んできました。

今後も県民からの理学療法士への期待が高まっていく中で士会活動が活発化していくことが予想され事務局機能の強化が益々重要になってくると思われます。今までの経験を活かし士会事業が円滑に進められるように引き続き事務局機能強化に取り組んでいきたいと思っております。また会員の皆さまの意見を取り入れながら士会組織一体となって運営していける組織作りを目指していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

立候補者広報 5

《理事立候補者》

矢野 秀典

目白大学

〈立候補趣旨〉

今まで3期わたり学術局長として本会の活動に携わりました。この間、学術誌「理学療法—臨床・研究・教育」の発刊や研究助成金などの活動により、皆様の学術的支援を行ってきました。その他に、賛助会員との共同研究事業を立ち上げ、研究グループ活動を進めてきました。この事業により、今まで関心はあったものの研究に関わることのなかった多くの会員が、研究サークルのような形で楽しみながら研究を実践しています。そして、現在では、学会発表など数々の業績も残しています。日本の理学療法士数は増え続けています。本会は、公益社団法人として、多くの県内理学療法士および県民のみなさまの活動を下支えしていくことが使命です。今後も、本会役員として、会員のみなさまが理学療法士として充実した仕事ができるように、常に新しい視点で活動していきたいと考えています。宜しく願い申し上げます。

本宮 光信

川越リハビリテーション病院

〈立候補趣旨〉

埼玉県理学療法士会理事に立候補させていただきました、川越リハビリテーション病院の本宮光信と申します。

私は埼玉県理学療法士会で財務局会費管理部に8年間在籍、その後財務局長として4年県士会活動に携わらせていただきました。理事とやらせていただいたことで、県士会の多岐に渡る事業や理事の皆さんの活動を知り、微力ではありますが皆様のお役に立てればと思い、再度立候補させていただくに至りました。財務局では以前より課題となっておりました会計担当者の負担軽減を図るよう、会計作業に特化した事務員を派遣で採用し、作業の効率化を図ると共に、会員の皆様からお預かりしている会費の管理をこれまで以上に徹底してまいりました。まだまだ業務修正を行っている段階であり、引き続き財務局長として業務を行っていただければと考えております。これまでの経験を活かし、県士会活動を少しでもサポートできればと思いますので、宜しく願い致します。

立候補者広報 6

《理事立候補者》

原田 慎一

リハビリテーション天草病院

〈立候補趣旨〉

埼玉県理学療法士会理事に立候補させていただきました、リハビリテーション天草病院の原田慎一と申します。私は平成 21 年度から埼玉県理学療法士会インターネット管理部の部長として実務を行い、平成 29 年度より広報局長として広報誌編集部の広報誌発行のための取材活動、理学療法週間推進部の理学療法フェスタ、45 周年記念式典での屋外イベント活動、三士会事業である埼玉県リハビリテーションマップ創設などの事業に携わらせていただきました。

今後も、ホームページにおける研修会情報ページのリニューアルや、埼玉県リハビリテーションマップ運用を柱に、継続して様々なフィールドで活躍されている埼玉県理学療法士の会員の皆様の活動を県民の皆様にお届けしていきたいと考え、立候補をさせていただきました。

今後も皆様のご意見・ご協力を頂きながらよりよい広報を行っていきたく考えていますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

茄子川 知浩

益子病院

〈立候補趣旨〉

このたび、公益社団法人埼玉県理学療法士会 理事に立候補いたしました。

私は、平成 27 年より事業局高齢者福祉部長を担当させていただきました。

事業局長の指導のもと、公益事業を部員と協力して、リハビリテーションを取り巻く多くの職種と情報を共有するための研修会を開催いたしました。

また、平成 29 年度からの事業では、体験を通して、障害の発生を予防することを目的とした事業や、地域のリハビリテーション資源を見える化するための事業など、一般県民を対象とした事業にも取り組んでまいりました。

今後は、住みやすい地域を構築していくために必要な情報を、会員の皆様、リハビリテーションを取り巻く職種の方々、県民の皆様と共有していければと考えております。

当会理事として、微力ながら貢献できればと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

立候補者広報 7

《理事立候補者（ブロック理事を担当する意向がある）》

田澤 俊亮

介護老人保健施設 鶴ヶ島ケアホーム

〈推薦理由〉 大沼 貴広 （東松山医師会病院）

長期に渡り北部ブロックの運営委員として活動を続けております田澤氏は、誠実さと落ち着いた雰囲気にも魅了されます。何よりフットワークの良さに定評があり、職能局でも活躍されており職能局長からも同様の評価を頂いております。若い力で北部ブロックを牽引し、更なる飛躍を目指すため田澤氏は頑張ります。

〈推薦者名〉 大沼 貴広 （東松山医師会病院） 横山 浩康 （熊谷総合病院） 飛田 英樹 （埼玉慈恵病院）

櫻場 勝

吉川中央総合病院

〈立候補趣旨〉

ブロックの活動はここ数年で会員数の増加とともに活発になってきたと感じています。以前は東部ブロック全体で活動してきましたが、現在では北・中央・南の3つのエリアで、更には市町村別でも活動するようになってきました。エリアでの活動が主となったため、エリアを跨いだ顔の見える関係は難しくなっております。さらには運営委員のいない施設もまだ多数あり、顔の見える関係作りは更に追求して行く必要があります。

ブロックまたはエリアごとの活動を更に活発化させることで、会員に最も身近な県士会組織として会員の声をしっかり聞き、会員が自ら運営できる組織にしていきたいと考えています。

10数年間、東部ブロック運営委員として多くの先輩方のご指導の下、経験してきたことを活かし県士会活動に微力ながら貢献できればと考えております。

立候補者広報 8

《理事立候補者（ブロック理事を担当する意向がある）》

吉川 貴矩

大生病院

〈推薦理由〉 杉浦 恵介（圏央所沢病院）

県士会の会員数は約 5,000 名となり、事業の内容は多岐にわたっています。会員数の増加だけでなく、来年にはオリンピック・パラリンピックの開催、団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年問題など、医療や介護に携わっている理学療法士の働き方も変化が求められています。そんな多岐にわたる県士会の運営、変化が要求されている環境では、県士会のより強固な組織力を構築していく必要があると感じています。

私たちは長年にわたり、県士会西部ブロック川越エリア長として活躍された吉川貴矩氏を理事に推薦いたします。吉川氏は県士会の事業に尽力するとともに、西部ブロックで顔の見える関係づくりを構築し、県士会の活動を長年にわたり支えて頂きました。

〈推薦者名〉 杉浦 恵介（圏央所沢病院）

長島 秀幸（所沢ロイヤル病院）

横山 秀則（介護老人保健施設 縄文の里 長瀬倶楽部）

高宮 尚之

田中ファミリークリニック

〈立候補趣旨〉

この度、埼玉県理学療法士会理事に立候補いたしました高宮尚之です。

平成 29 年度より南部ブロック理事を務めてまいりました。運営委員の方々をはじめ、多くの方に支えられながら、年間の参加者数が延べ 1,000 名を超える事業を実施することができました。現在、当会は会員数がおおよそ 5,000 名の大きな組織となってまいりました。今後も会員同士が交流し、専門性の維持・向上を図るためには、より小規模単位でのフットワークの軽い活動が必要であると考えます。また、以前よりも理学療法士の働き方が多様化しており、従来の枠組みにとらわれない発想も必要になると考えます。

微力ながらブロック理事として務めてきた経験を活かしつつ、さまざまな意見を取り入れ、会員全員で魅力ある会を創っていきたくと考えております。よろしくお願いたします。

立候補者広報 9

《 監事立候補者 》

前園 徹

AMG 地域健康推進研究所

〈 立候補趣旨 〉

会の運営に長期にわたって、部員・部長・事務局長・副会長・会長・監事として携わってきました。令和の時代になり、理学療法士を取り巻く環境は、更にきびしく且つ大きく変革してくることが予想されます。

会の運営に今後とも尽力していきたい。

清宮 清美

埼玉県総合リハビリテーションセンター

〈 立候補趣旨 〉

監事に立候補した清宮です。平成の時代に理事、副会長、事務局長、会長、監事と埼玉県理学療法士会の役員として活動しました。公益社団法人への移行という変遷の時を経て、埼玉県の地域リハビリテーション体制整備事業に参画し、公益社団法人日本理学療法士協会の方針とする地域包括システムの推進とあわせて、公益社団法人埼玉県理学療法士会としての体制を整え、進めることができました。会員の皆さまのご協力により任期を努めることができましたと思います。令和の時代も、会員数が増え大きな組織となり、土台作りは増々重要です。今期も監事として会の運営を支えて行く所存です。これからの理学療法士業界を担う会員の皆さまには、協会や県理学療法士会の必要性を理解していただき、ともに活動をしていただけるようご協力のほどよろしくお願いいたします。